

大和協力

【第1号】令和8年4月7日発行
発行者 佐賀市立大和中学校
文責 木村 信人
<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



学校目標：～夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成～

新年度が始まりました

いよいよ令和8年度が始まりました。本校校長として2年目を迎え、改めて大和中学校の教育に携われることを大変嬉しく思っております。昨年度は、保護者や地域の皆様の温かいご支援のもと、子どもたちの確かな成長を感じる一年となりました。

本年度は、3年生186人、2年生243人、そして9日には新たに1年生188人を迎え、生徒617人、教職員71人、合わせて688人で学校生活がスタートします。一人一人を大切に、安心して学べる学校づくりに全力で取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



※4/5(日)に撮影しました。

こんな学校に、こんな子どもたちに

学校目標：「夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成」

心身ともに健康で実践力のある人間性豊かな生徒の育成に取り組み、教職員・生徒・保護者・家庭・地域と共に、**「子どもの well-being」**の実現を目指す。

「目指す生徒像」

- 自らを律し、自ら学び、考え、判断し、正しく行動できる生徒【自律】
- 互いを認め合い、思いやりのある言動ができる生徒【尊重】
- 志をもち、チャレンジ精神に満ちあふれた生徒【創造】
- 心身ともに健康で、明るく活力に満ちた生徒
- 郷土を愛し、郷土に自信と誇りをもった生徒



※校長室の壁に飾られています。

本年度の学校だよりの名称を、校訓である『大和協力』（たいわきょうりょく）としました。「大和」という名称は、1955年に春日・川上・松梅の三村が合併した際、「三村が合わさり、大きな和（協調）を成し、将来の発展を目指す」という願いを込めて名付けられたものです。互いを認め合い、力を合わせて歩む「大和（たいわ）の精神」は、今もこの地に受け継がれています。また、本校では、昭和33年の創立当初から「大和協力」を校訓として大切にしてきました。

この“大和の精神”を教育活動の基盤とし、昨年に引き続き、学校教育目標を「夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成」と定めています。これは、佐賀市の教育ビジョンである「子どもの well-being の実現」にも通じるものです。そして、今年度は特に**「自ら気づき、考え、行動する」**姿勢を大切にしていきます。夢や目標に向かって努力すること、相手の気持ちを考えて行動すること、そして、失敗を恐れず挑戦すること。その積み重ねが、生徒一人一人の成長につながると考えています。

『大和協力』を通して、学校・家庭・地域が思いを一つにし、子どもたちの well-being を支えてまいります。本年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします

今年度の定期異動により、22名の職員が新しく大和中学校に加わりました。新たな仲間を迎え、学校全体に新鮮な雰囲気が広がっています。

新しく赴任した職員は、子どもたちとの出会いを大切にしながら、日々の教育活動に前向きに取り組んでいこうとしています。また、大和中学校がこれまで大切にしてきた伝統やよさを学びつつ、それぞれの経験や持ち味を生かし、よりよい学校づくりに力を尽くしてくれることと思います。

これまでの職員と新しい職員が互いに支え合いながら、子どもたちが安心して、のびのびと学校生活を送れるよう努めてまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。